



おのの 大野 ひろし

しんわかい 津和会

津市の通学路における 危機管理対策は

問 公共施設のブロック塀は撤去等の対策がなされ、公道に面した個人、法人のブロック塀は、生け垣に作り替えることにより補助の対象となる。これらの対策は、児童・生徒の安全確保のための通学路の危険除去、修復を早急に行うための措置である。

ブロック塀だけでなく、石垣、生い茂った樹木など危険箇所はたくさんあるが、これらも補助の対象にしてはどうか。

答 ブロック塀撤去の補助制度は狭あい道路整備や空き家対策事業で適用できるものもあり、それらもうまく活用していただきたい。

通学路の安全について、自治会やPTAから相談があった際は、法律や条例に基づく話をするだけではなく、道路維持や里地里山整備など別の視点からのメニューも活用し、危険箇所の整備を推進するなど、市役所全体でしっかりと取り組んでいく。

また、通学路で危険箇所がある場合、どのような対応や注意喚起をすれば、児童たちに効果的かの検証も進めている。

まずは、生け垣緑化推進事業補助金制度をスタートさせ、その中で、他の補助などについても、継続的に研究していく。

●その他の質疑・質問●

○津市の幼児教育と、こども園構想について、今年度、開園したこども園での、幼児教育のさらなる向上、教育部門と福祉部門の連携等、現状を把握した上で子ども・子育て支援事業の今後について

○ハザードマップにおける危険箇所の是正策、危険察知のハード対策、避難体制について



▲通学路の危険物はブロック塀だけでなく、枯れ木もある



たむらむねひろ 田村 宗博

しんわかい 津和会

水田農業を取り巻く諸 課題は

問 津市の水田農業の現状をどのように捉えているのか。

また、国の施策によるところが大きい水田農業は、農地中間管理機構が将来を左右すると考えるが、当機構を利用した農地整備についてはどのように考えているのか。



答 水田農業を安定的で効率的に推進していくためには、農地中間管理事業等を活用し、農地利用最適化の推進が必要である。今後は、農地集積を促進し、経営規模拡大と効率化が図られるよう、事業推進の予算確保や推進体制の整備について、県に対して要望していく。さらに農家の高齢化などによる耕作放棄地の発生抑制に対応するため、農地中間管理事業を活用した農地集積を行い、担い手への集約化を推進していく。

また、国は農地中間管理機構関連農地整備事業に力を入れて取り組んでおり、農地中間管理事業に向けた合意形成が図られることから、引き続き地元調整を進めていく。

●その他の質疑・質問●

○モーターボート競走事業について

●地方公営企業法の全部適用について

○津市の広域幹線道路網の在り方について

●北勢地域に負けてはならない

○活力ある街づくりについて

●夢のある施策を など



▲公営企業会計を導入しているモーターボート競走事業